

レポートとして気をつけたいポイント

- である体に統一されているか
- 体言止めになっていないか
- 書き言葉になっているか
- 明確な表現になっているか
- 客観的な根拠に基づいて書いているか

レポートの表現は、ブログやエッセイとは異なるよ！
 専門書や論文をよく読んで
 学術的な表現や文体に慣れよう！



こんなときコラトリエで相談してみよう

- 自分が書いた文章が読み手に伝わるか不安
 ↳一緒に、文章表現を確認していきます
- 課題が出たけど、どうしたらいいかわからない
 ↳課題を確認し、何をどう進めていけばいいのか一緒に考えます

コラトリエで相談するには？

- ①コラトリエHP「学びの支援申込み」から事前に申し込む
 ↳相談日時のお知らせメールが届きます
- ②直接コラトリエのアカデミックサポートデスクに行く
 ↳当日対応も可能ですが、対応できないこともあるので、予約をおすすめします

問い合わせ先
 東北学院大学ラーニング・commons「コラトリエ」
 五橋：シュネーダー記念館3階 TEL：022-354-8151
 土樋：ホーイ記念館2階 TEL：022-264-6570
 E-mail：colatelier-support@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
 HP：https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/colatelier/
 X (旧Twitter)：@tgu_colatelier
 Facebook：https://www.facebook.com/tgu.colatelier/



発行：2024年2月 HPはこちらから

ミニガイド

レポートの書き方の

コツ 文章表現編



提出する前に確認しよう！

ラーニング・commons「コラトリエ」

日本語として気をつけたいポイント

- 一文が長すぎないか
- 主語と述語が対応しているか
- 意味が2通り以上解釈できる文になっていないか
- 誤字・脱字はないか
- 読み手に伝わるか



せっかく良い考えであっても、きちんとした日本語で書かれていないと、印象が悪くなるばかりか読み手に伝わらないよ。
 書いた後に、必ず声に出して読んでみよう！

レポートの表現として気をつけたいポイント

Point / 1 読みやすい文

- ▶ 一文一義
 一つの文には一つの事柄のみ書きましょう。ダラダラ書くのではなく思考を整理して書くことが大切です。接続詞を使うと、読みやすくなります。

✕ 裁判員制度は、刑事裁判に有権者から選ばれた裁判員が参加する制度のことで、2009年に導入され現在7万人以上が参加しているが、裁判員制度の関心の低下や審理日数の長期化、雇用情勢の悪化などの要因から年々出席率が低下し、辞退者も増加している。

○ 裁判員制度は、刑事裁判に有権者から選ばれた裁判員が参加する制度のことであり、日本では、2009年から導入され、現在7万人以上が参加している。しかし、裁判員制度の関心の低下や審理日数の長期化、雇用情勢の悪化などから年々出席率が低下し、辞退者も増加している。



2 主語と述語は対応させる

書くときは内容にばかり注意が向き、文構造がぐずれがちです。書いた後に、必ず主語と述語が対応しているか確認しましょう。

✕ 本レポートの目的は、大学生の授業外学習の実態を明らかにする。

○ 本レポートの目的は、大学生の授業外学習の実態を明らかにすることである。

✕ 日本のODAの課題の一つとしてODAに対する国民の意識が低い点である。

○ 日本のODAの課題の一つとしてODAに対する国民の意識が低い点が挙げられる。

○ 日本のODAの課題の一つにODAに対する国民の意識が低いという点がある。

Point / 2 学術的な文章にふさわしい文体や表現

- ▶ 「である体」で書く
 「ですます体」ではなく「である体」で書きましょう。論文では「だ」は使われないので、避けましょう。

✕ レポートでは、客観的な根拠に基づいて主張を述べるのが重要です。

✕ レポートでは、客観的な根拠に基づいて主張を述べるのが重要だ。

○ レポートでは、客観的な根拠に基づいて主張を述べるのが重要である。

- ▶ 「体言止め」は避ける
- ▶ 「書き言葉」で書く
 話し言葉と書き言葉を意識して使い分けましょう。

✕ 近年、SNSを通じて子供が犯罪に巻き込まれる事件が増加している日本。どうしたら、こんなひどい事件が減るのだろうか。

○ 近年、日本ではSNSを通じて子供が犯罪に巻き込まれる事件が増加している。どうすれば、このような悲惨な事件が減少するのだろうか。

Point / 3 客観的かつ正確な記述

- ▶ なるべく言い切る！
- ▶ 根拠に基づいて具体的事実を正確に書く

レポートでは、客観的な根拠に基づいて事実や意見を述べるのが重要です。しっかり調べた上で、正確に記述するようにしましょう。

✕ 最近、よくコンビニで外国人が働いているのを見かける。日本では外国人労働者が増加しているようだ。

○ 日本では、外国人労働者が急激に増加している。厚生労働省によると、2017年10月末時点での外国人労働者数は127万8670人で、2012年から約60万人増加している。

3 「私」を登場させずに、客観的に書く

事実や主張を述べるときは「私」の視点を入れずに客観的に述べましょう。

✕ 私は、日本は女性の社会進出が遅れていると思う。

○ 日本は、女性の社会進出が遅れている。